

愛媛県のすがた（地形・風土・文化）

◆地形・風土

愛媛県は、四国の北西側に位置し、日本一細長い佐田岬半島を境に瀬戸内海と宇和海の2つの海に面しています。

瀬戸内海側は、海に面して道後平野（松山市など）や道前平野（新居浜市・西条市など）が広がり、宇和海側は、出入りの多いリアス海岸になっています。

瀬戸内海・宇和海には391の島々があり、海岸線の長さは、全国5位（約1,700km）、宇和海南部ではサンゴも見られます。

南側に接する高知県との境付近には、西日本で一番高い石鎚山（1,982m）をはじめとする四国山地がそびえており、海・山両方の自然に恵まれています。

気候はおだやかで、住みやすい地域といえます。



いしづちさん 石鎚山



うわかい 宇和海のサンゴ



◎愛媛県の位置



◆文化

愛媛県は、大山祇神社（※1）をはじめ、松山城（※2）、道後温泉本館（※3）、内子町や西予市・宇和島市の古い町並みなど、多くの文化財に恵まれ、また正岡子規をはじめとする多くの俳人が育った「俳句王国」としても知られるなど歴史と伝統ある文化が残されています。「西条まつり」「新居浜太鼓祭り」「宇和島牛鬼まつり」など、特徴のあるまつりもたくさんあります。

- ※1 国宝や重要文化財の指定を受けた武具・甲冑などを多数収蔵・展示
- ※2 「日本三大平山城」の一つ
- ※3 道後温泉本館は、国の重要文化財で、ミシュランガイドで三ツ星を得た



どうご おんせんほんかん 道後温泉本館